

いつも、インシデント報告ありがとうございます

2018.10.10

京大病院医療安全情報106

【コミュニケーションで防げる配膳ミス】

—配膳関連のインシデント事例—

【事例①: 情報修正時伝達不備による配膳の遅れ】

配膳用病床マップの患者1名に**絶食指示(赤○)**を付けたが、後で誤りであると看護師が気づき修正した。しかし既に給食業者スタッフによる配膳作業は開始されていたため、その患者へ食事が配膳されなかった。

→病床マップの修正について、看護師と給食業者スタッフの情報共有が必要であった。

【事例②: 絶食指示伝達不備による配膳ミス】

食事オーダー締切後に医師が絶食指示へ変更した患者を、看護師へ伝え忘れた。配膳用病床マップに**赤○**が記載されず、絶食指示の患者へ食事が配膳された。患者のご家族が気付いたため、食事の摂取は未然に防ぐことが出来た。



【配膳用病床マップを正しく記入して誤配膳を防ごう】

配膳用病床マップ
記入見本

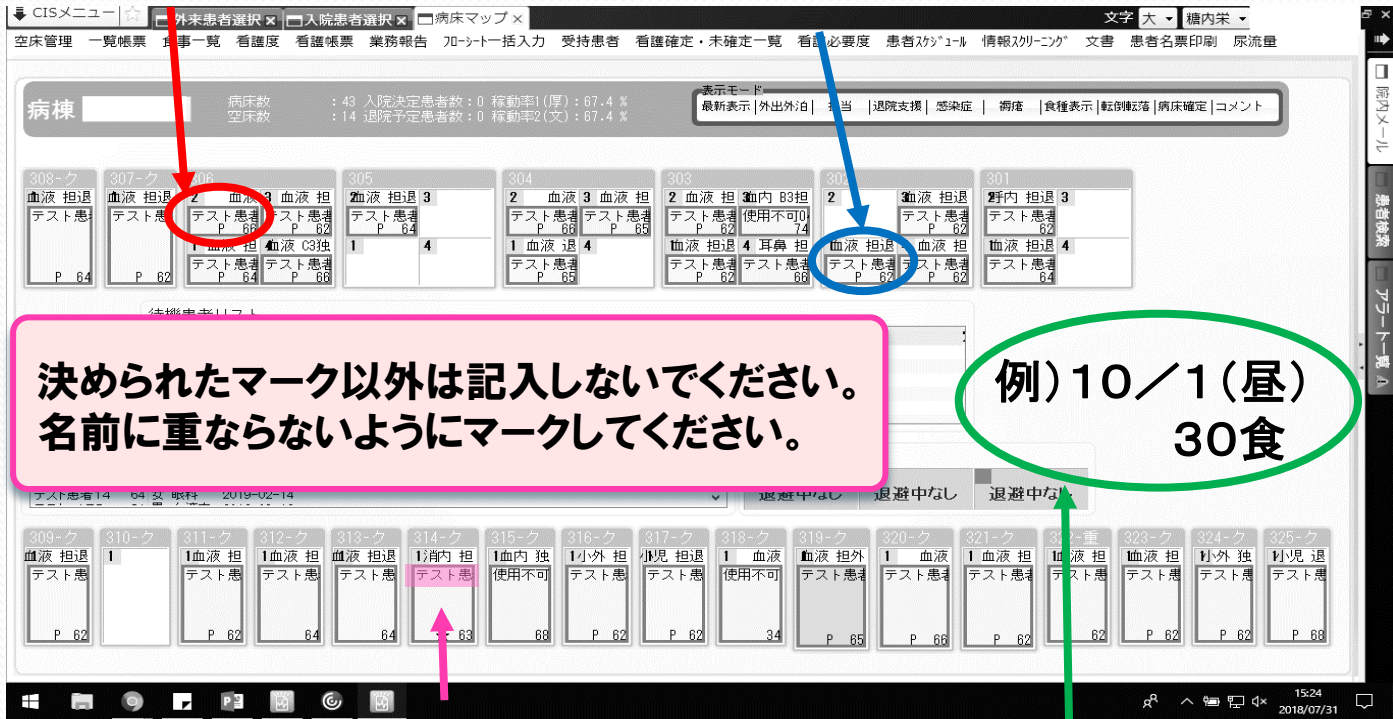
マップの出力
昼食分=11時以降 夕食分=17時以降

赤○

『全ての絶食・外泊患者』

青○

『別の場所に配膳』



決められたマーク以外は記入しないでください。
名前に重ならないようにマークしてください。

例) 10/1(昼)
30食

ピンクマーカー

『病棟スタッフで配膳』

※入室制限、面会謝絶の患者など

『日付』と『食数』を明記



配膳用病床マップは、病棟と配膳スタッフのコミュニケーションツールの1つです。正しい記入により誤配膳を防ぐ事が出来ます。記入例は各病棟へ配布されています。配膳手順(2018年7月改訂)／病床マップ記入例、共にKING公開フォルダで確認できます。